

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

2025 年 3 月 25 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング7階

評価機関名 株式会社プレパレーション

認証評価機関番号

機構 20 - 253

電話番号 03-6427-7451

代表者氏名 岡 知己

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号 | 評価者氏名 | | 担当分野 | 修了者番号 |
|--|--|---------------|---------------|----------|
| | ① | 小口敏英 | 経営 | H2001065 |
| | ② | 井口智明 | 経営 | H2001066 |
| | ③ | 古畑朋子 | 福祉 | H2301054 |
| | ④ | | | |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 福祉サービス種別 | 学童クラブ | | 指定番号を入力してください | |
| 評価対象事業所名称 | 赤坂子ども中高生プラザ | | | |
| 事業所連絡先 | 〒 | 107-0052 | | |
| | 所在地 | 東京都港区赤坂6-6-14 | | |
| | TEL | 03-5561-7830 | | |
| 事業所代表者氏名 | 柳川操 | | | |
| 契約日 | 2024 年 5 月 22 日 | | | |
| 利用者調査票配付日(実施日) | 2024 年 9 月 24 日 | | | |
| 利用者調査結果報告日 | 2024 年 10 月 8 日 | | | |
| 自己評価の調査票配付日 | 2024 年 9 月 24 日 | | | |
| 自己評価結果報告日 | 2024 年 10 月 8 日 | | | |
| 訪問調査日 | 2024 年 11 月 15 日 | | | |
| 評価合議日 | 2025 年 3 月 25 日 | | | |
| コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | 施設を現在利用している登録児童数を対象とした利用者調査をおこないました。施設から利用者調査案内を配布し、紙面にて回答してもらう形式にしました。きょうだいで利用している場合は、年齢が低い方の利用者について回答をしてもらいました。職員へのアンケートも紙面にておこない、鍵付きBOXへ提出してもらったのち、本評価機関に郵送にて回収しました。訪問調査当日は、施設内の見学をしたあと、経営層に質問しながら状況把握に努めました。 | | | |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

| | |
|---|--|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)仲間とともに協力し、自主的に活動を進められるよう支援する 2)一人ひとりの違いを認め合いながら、人間としてあたたかな心を育むよう支援する 3)安全安心に居心地よく過ごせる場となるよう、環境を整備する 4)保護者の子育てと仕事などの両立を支援する 5)地域に信頼され、地域とともに育つ施設を目指す</p> |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>感謝の心を忘れない人材 何にでも興味を持ち、楽しめる人材 心身ともに健康であること</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもたちの育ちを中心に考える 社会人という意識を持つ</p> |

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、30名を対象とし、10名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を園から全世帯に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

| アンケート | 聞き取り | 計 |
|-------|------|------|
| 30 | 0 | 30 |
| 10 | 0 | 10 |
| 33.3 | 0.0 | 33.3 |

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が50%、「満足」が40%、「どちらともいえない」が0%、「不満」が10%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて90%と大変高い評価を得ています。自由記述では「他の施設でスタッフが全然関わろうとしない所もあったので、適度に関わってくれて嬉しい。」「いつ行っても子どもの顔と名前を覚えてくれているスタッフさんが明るく声を掛けてくれるので、私と子どもの居場所がここにはある、来て良いんだと思えた」といったコメントやのほか、「ベビールームに埃や髪が落ちていることが多く汚い。」「壊れたおもちゃや割れたパーツなどがそのままにされていることがあり、赤ちゃんの口に入ったら危ないと思います。」といった意見がありました。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|-----------|-----|---------|
| | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答・非該当 |
| 1.施設の情報(ホームページ、パンフレット等)は、事前に簡単に入手できましたか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「館内の貼り紙やパンフレットはいつも見易い工夫がされています。」というコメントがありました。 | | | | |
| 2.その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「簡潔で分かり易いです。」というコメントがありました。 | | | | |
| 3.施設で開催されるイベント等の情報は事前にパンフレットやホームページ等で簡単に入手できましたか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「職員の方から案内して下さることも多く、大変有り難いです。」というコメントがありました。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|---|---|---|
| 4.施設で友人ができましたか。 | 6 | 1 | 3 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が60%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」は30%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。自由記述では「なんで一もにいらっしゃる方達はとても良い方が多く、沢山ママ友が出来ました。お友達に会えるのがなんで一もに行く楽しみの一つにもなっています。」というコメントがありました。 | | | | |
| 5.施設を利用する際に守べきルール(きまり)は、わかりやすいものになっていますか。 | 9 | 0 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「いいえ」は10%、「どちらともいえない」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「ルールはとても分かり易いですし、スタッフの方達が乳幼児がケガをしないよう細心の注意を払って下さっている。(特にアリーナや廊下など)ので大変安心です。」というコメントがありました。 | | | | |
| 6.遊具やスペースは、利用者が自由に使えるようになっていますか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「安全に仲良く使える工夫がされていると思います。」というコメントがありました。 | | | | |
| 7.施設で提供している乳幼児向けの事業(行事・相談・講座・プログラム等)に参加したことはありますか。 | 9 | 0 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「いいえ」は10%、「どちらともいえない」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「とても良いリフレッシュになっています」というコメントがありました。 | | | | |
| 8.施設では利用者のニーズを踏まえた事業・活動が行われていると思いますか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「利用者とのティータイムがあったり、新しい取り組みをどんどん始めていることが素晴らしいと思います。」というコメントがありました。 | | | | |
| 9.施設で提供している事業(行事・相談・講座・プログラム等)の内容に満足していますか。 | 9 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「子どもや親に寄り添った内容でとても有難いです。」というコメントがありました。 | | | | |
| 10.施設は気軽に利用できるような環境、雰囲気はありますか。 | 10 | 0 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が100%と、大変高い評価を得ています。自由記述では「一緒に子どもの成長を見守って下さっていて、子どもにとっても私にとってもなんで一もが一番好きな施設です。」というコメントのほか、スロープの使いづらさについての意見が寄せられていました。 | | | | |
| 11.施設で子育てに関する情報提供や支援を受けたことがありますか。 | 6 | 2 | 2 | 0 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| この項目では「はい」の回答が60%、「どちらともいえない」は20%、「いいえ」は20%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では「利用当初は沢山のスタッフの方達に助けて頂きました。」というコメントがありました。 | | | | |
| 12.施設で職員に相談したことはありますか。 | 1 | 2 | 7 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が10%、「どちらともいえない」は20%、「いいえ」は70%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では「いつも相談に乗って頂いてました。子育てがずっと楽しめているのはなんで一もの皆さんのおかげです。」というコメントがありました。 | | | | |
| 13.相談したとき、職員はあなたの話や相談を親身になって聞きましたか？ | 1 | 0 | 0 | 9 |
| この項目では「はい」の回答が10%、「無回答・非該当」は90%、「どちらともいえない」「いいえ」は0%、という結果となりました。自由記述では「こどもへの話し掛け方から泣いた時のあやし方まで皆さんプロなのでいつも教えて頂き勉強になりました。」というコメントがありました。 | | | | |
| 14.施設では個人情報やプライバシーに関する配慮がなされていますか。 | 8 | 0 | 1 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が80%、「どちらともいえない」は0%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は10%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「こどもと親の気持ちを一番に考えつつ、プライバシーにも配慮頂いていると感じます。皆さん信用出来る方ばかりです。」というコメントのほか、という意見が寄せられていました。 | | | | |
| 15.施設は要望・意見などを言いやすい雰囲気がありますか。 | 8 | 1 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が80%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「普段から色々聞いて下さるのでお伝えしやすいです。」というコメントのほか、という意見が寄せられていました。 | | | | |
| 16.施設は要望・意見に対して適切に対応してくれますか。 | 4 | 3 | 1 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が40%、「どちらともいえない」は30%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は20%という結果となりました。特別なコメントはありませんでした。 | | | | |
| 17.施設では利用や行事等への参加について、地域へ積極的な働きかけが行われていると思いますか。 | 6 | 3 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が60%、「どちらともいえない」は30%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。自由記述では「お隣の高齢者施設との交流があったり、スタッフの方達がなんで一もに通うこども達と積極的に交流していて、地域に根差した施設だと思います。」というコメントがありました。 | | | | |
| 18.施設では地域の人たちと連携しながら活動が行われていると思いますか。 | 7 | 1 | 1 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が70%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は10%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「消防車が来た時、こどもを乗せてもらえるようお願いして下さり、とても良い記念になりました。それ以来こどもは消防車が大好きになりました。」というコメントがありました。 | | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 19.障害のある利用者への対応は、十分なされていると思いますか。 | 5 | 3 | 1 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が50%、「どちらともいえない」は30%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は10%という結果となり、一定の評価を得ています。自由記述では「お子さんや親御さんへの接し方がとても良いと思います。」というコメントがありました。 | | | | |
| 20.施設の施設やトイレ等の設備は、利用しやすいように配慮がなされていると思いますか。 | 8 | 1 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が80%、「どちらともいえない」は10%、「いいえ」は10%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「いつも綺麗で安心して利用出来ます。」というコメントのほか、普通のトイレにベビーチェアを増設して欲しいという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 21.施設内は安全対策が十分とられていると思いますか。 | 9 | 0 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「いいえ」は10%、「どちらともいえない」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「スタッフの方がいつも気を配って下さっていて安心出来ます。」というコメントがありました。 | | | | |
| 22.施設内は衛生的で清掃などがしっかり行われていると思いますか。 | 9 | 0 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90%、「いいえ」は10%、「どちらともいえない」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「いつも綺麗で安心出来ます。」というコメントがありました。 | | | | |

調査対象

対象施設の登録児童数を調査対象とし、アンケートにて調査をおこなった。37世帯より回答を得た。回答は対象児童もしくは保護者が利用者の様子を推察し、回答を依頼した。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を園から全世帯に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

115

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

| アンケート | 聞き取り | 計 |
|-------|------|------|
| 80 | 0 | 80 |
| 37 | 0 | 37 |
| 32.2 | 0.0 | 32.2 |

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が86.5%、「満足」は8.1%、「どちらともいえない」が0%、「無回答」が5.4%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて94.6%と大変高い評価を得ています。自由記述では「毎日とても楽しく学童に通っていて、職員の方々には本当に感謝しています。」という感謝の声が寄せられていました。そのほか、遊具や漫画、ゲームの種類が増えると嬉しい、アリーナを使える時間を増やして欲しい、こども同士のトラブルについて職員が目が行き届くと安心するという意見が寄せられていました。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|-----------|-----|------------|
| | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 学童クラブでの活動は楽しく、興味の持てるものとなっているか | 34 | 3 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が91.9%、「どちらともいえない」は8.1%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「色々なことが出来て一つひとつが面白いです。」というコメントのほか、本に漫画があると嬉しいという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 2. 職員は話し相手や、相談相手になってくれるか | 27 | 5 | 1 | 4 |
| この項目では「はい」の回答が73.0%、「どちらともいえない」は13.5%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は10.8%という結果となりました。自由記述では「話し掛けたら何でも聞いてくれていつもが楽しい。」というコメントのほか、全職員話しを聞いてくれると安心するという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 3. おやつ時間が楽しいひとときになっているか | 35 | 2 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が94.6%、「どちらともいえない」は5.4%、「いいえ」、「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「いっぱい食べられてすごく美味しいので最高です。」というコメントがありました。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|---|----|
| 4. 学童クラブでの約束ごと、活動内容について話し合う機会を設け、職員は意見を尊重してくれているか | 17 | 9 | 1 | 10 |
| この項目では「はい」の回答が46.0%、「どちらともいえない」は24.3%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は27.0%という結果となりました。自由記述では「もともとイベントでの遊びでは自分に合っていると思っています。」というコメントのほか、話し合ったことがないですという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 5. 職員から学童クラブの約束ごとの説明を受けているか | 31 | 2 | 1 | 3 |
| この項目では「はい」の回答が83.8%、「どちらともいえない」は5.4%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は8.1%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「ここはこう言う場所だからしょうがないんだよと言っていました。」というコメントがありました。 | | | | |
| 6. 学童クラブ内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 25 | 6 | 5 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が67.6%、「どちらともいえない」は16.2%、「いいえ」が13.5%、「無回答・非該当」は2.7%という結果となりました。自由記述では本棚の整頓が行き届くと嬉しいという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 7. 職員の接遇・態度は適切か | 28 | 3 | 0 | 6 |
| この項目では「はい」の回答が75.7%、「どちらともいえない」は8.1%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は16.2%という結果となりました。自由記述では肯定的なコメントがありました。 | | | | |
| 8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 32 | 1 | 0 | 4 |
| この項目では「はい」の回答が86.5%、「どちらともいえない」は2.7%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は10.8%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「すごく優しい対応をしてくれていると思います。」というコメントのほか、すぐに対応してくれると助かるという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 9. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 28 | 5 | 1 | 3 |
| この項目では「はい」の回答が75.7%、「どちらともいえない」は13.5%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は8.1%という結果となりました。自由記述では「助けてくれると言うか止めてくれます。」「言えば助けてくれます。」というコメントのほか、施設全体に職員の目が行き届き、丁寧に対応してくれると安心するという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 10. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 30 | 2 | 0 | 5 |
| この項目では「はい」の回答が81.1%、「どちらともいえない」は5.4%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は13.5%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「大切にしてくれていると思います。」というコメントのほか、全職員が統一した対応だと嬉しいという意見が寄せられていました。 | | | | |

| | | | | |
|--|----|---|---|----|
| 11. 子どものプライバシーは守られているか | 18 | 7 | 1 | 11 |
| この項目では「はい」の回答が48.7%、「どちらともいえない」は18.9%、「いいえ」が2.7%、「無回答・非該当」は29.7%という結果となりました。自由記述では、内緒の話を職員にしたことがありませんという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 12. 子どもの不満や要望は対応されているか | 26 | 3 | 0 | 8 |
| この項目では「はい」の回答が70.3%、「どちらともいえない」は8.1%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は21.6%という結果となりました。自由記述では「一緒にやりたくない子もいるので、その時に言う違う場所でやって良いよって言ってくれます。」というコメントのほか、全職員丁寧に対応してくれると助かるという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 13. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 5 | 7 | 3 | 22 |
| この項目では「はい」の回答が13.5%、「どちらともいえない」は18.9%、「いいえ」が8.1%、「無回答・非該当」は59.5%という結果となりました。自由記述では「館長さんが聞いてくれます、との事です。」「まだ第三者委員、役所まで相談せず、どうにかになっています。」というコメントがありました。 | | | | |

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、16名を対象とし、11名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を園から全世帯に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

| アンケート | 聞き取り | 計 |
|-------|------|------|
| 16 | 0 | 16 |
| 11 | 0 | 11 |
| 68.8 | 0.0 | 68.8 |

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が36.3%、「満足」は27.3%、「どちらともいえない」が9.1%、「不満」が27.3%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて63.6%と高い評価を得ています。自由記述では「なんで一もは名前の通りなんでも出来て楽しいです。」といったコメントのほか、職員の対応についての疑問の意見が見られました。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|--|----|-----------|-----|---------|
| | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答・非該当 |
| コメント | | | | |
| 1.『なんで～も』は、楽しいですか？ | 10 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が90.9%、「どちらともいえない」は9.1%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 2.『なんで～も』の中では、のびのびと過ごせますか？ | 9 | 1 | 0 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が81.8%、「どちらともいえない」は9.1%、「無回答・非該当」は9.1%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 3.『なんで～も』では、新しい友達はできましたか？ | 9 | 0 | 2 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が81.8%、「いいえ」は18.2%、「どちらともいえない」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |

| | | | | |
|--|---|---|---|----|
| 4.『なんで～も』でやってみたいこと、やりたい遊びはありますか？ | 2 | 2 | 6 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が18.2%、「どちらともいえない」は18.2%、「いいえ」は54.6%、「無回答・非該当」は9%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 5.『なんで～も』のみんなでする場所は片付いていると思いますか？ | 6 | 4 | 0 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が54.6%、「どちらともいえない」は36.3%、「無回答・非該当」は9.1%、「いいえ」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 6.あなたは、『なんで～も』の職員に気軽に話をしたり相談したりすることができますか？ | 7 | 1 | 3 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が63.6%、「どちらともいえない」は9.1%、「いいえ」は27.3%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 7.あなたが何かしたいと言ったとき、『なんで～も』の職員はそのことについて話を聞いてくれますか？ | 6 | 1 | 3 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が54.5%、「どちらともいえない」は9.1%、「いいえ」は27.3%、「無回答・非該当」は9.1%という結果となり、一定の評価を得ています。自由記述では職員谷タイミングによって差があるという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 8.子ども同士のけんかや言い争いがあつた時に、『なんで～も』の職員は間に入ってくれますか？ | 3 | 1 | 0 | 7 |
| この項目では「はい」の回答が27.3%、「どちらともいえない」は9.1%、「無回答・非該当」は63.6%「いいえ」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 9.『なんで～も』の職員は他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を守ってくれますか？ | 1 | 0 | 0 | 10 |
| この項目では「はい」の回答が9.1%、「無回答・非該当」は90.9%、「どちらともいえない」「いいえ」は0%、という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 10.『なんで～も』でやってはいけない事について、職員は、なぜいけないのか説明してくれますか？ | 1 | 0 | 2 | 8 |
| この項目では「はい」の回答が9.1%、「いいえ」は18.2%、「無回答・非該当」は72.7%、「どちらともいえない」は0%という結果となりました。自由記述では、職員によって差があるという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 11.あなたがあまり元気がない時や、気分がすぐれない時『なんで～も』の職員は声をかけてくれますか？ | 1 | 0 | 2 | 8 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| この項目では「はい」の回答が9.1%、「いいえ」は18.2%、「無回答・非該当」は72.7%、「どちらともいえない」は0%という結果となりました。自由記述では、職員によって差があるという意見が寄せられていました。 | | | | |
| 12.あなたが利用している時に熱を出したり、ケガをしてしまった時には『なんで～も』の職員が家に連絡をとるなど何か対応してくれますか？ | 1 | 0 | 1 | 9 |
| この項目では「はい」の回答が9.1%、「いいえ」は9.1%、「無回答・非該当」は81.8%、「どちらともいえない」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 13.『なんで～も』に地域の方がボランティアに来てくれたり、外での活動の時に地域の人と一緒に遊んだりする機会がありますか？ | 1 | 0 | 1 | 9 |
| この項目では「はい」の回答が9.1%、「いいえ」は9.1%、「無回答・非該当」は81.8%、「どちらともいえない」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 14.台風、地震、火災が起きた時は、どのように避難するのかなど、『なんで～も』の職員から聞いていますか？ | 1 | 1 | 3 | 6 |
| この項目では「はい」の回答が9.1%、「どちらともいえない」は9.1%、「いいえ」は27.3%、「無回答・非該当」は54.5%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述ではこどもの興味関心の薄さがうかがえるコメントがありました。 | | | | |

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、20名を対象とし、16名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を園から全世帯に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合(%)

| アンケート | 聞き取り | 計 |
|-------|------|------|
| 20 | 0 | 20 |
| 16 | 0 | 16 |
| 80.0 | 0.0 | 80.0 |

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が81.3%、「満足」は18.8%、「大変満足・満足」を合わせて100%と大変高い評価を得ています。自由記述では「スタジオが無料で利用可能であることが嬉しい。」、「スタジオやゲームが無料で出来るのが本当に有り難いです。」といったコメントや、スタジオ機材の更新を望む意見がありました。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|---|----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1.施設の情報(ホームページ、パンフレット等)は、事前に簡単に入手できましたか。 | 5 | 7 | 2 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が31.3%、「どちらともいえない」は43.7%、「いいえ」は12.5%、「無回答・非該当」は12.5%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 2.その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。 | 7 | 5 | 0 | 4 |
| この項目では「はい」の回答が43.7%、「どちらともいえない」は31.3%、「無回答・非該当」は25%、「いいえ」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 3.施設で開催されるイベント等の情報は事前にパンフレットやホームページ等で簡単に入手できましたか。 | 8 | 4 | 2 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が50%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は12.5%、「無回答・非該当」は12.5%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|---|---|
| 4.施設を利用する際を守るべきルール(きまり)は、わかりやすいものになっていますか。 | 14 | 2 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が87.5%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 5.施設は日常的に中高生だけで使える場や時間を設定していると思いますか。 | 15 | 1 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.2%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 6.あなたは、施設で異年齢や他校の人と友達になる機会がありますか。 | 5 | 2 | 9 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が31.3%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」は56.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 7.あなたは、施設で乳幼児や小学生と交流する機会がありますか。 | 5 | 2 | 9 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が31.3%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」は56.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 8.施設の設備やスペースは、利用者が自由に使えるようになっていると思いますか。 | 16 | 0 | 0 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が100%と大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 9.施設では利用者のニーズを踏まえた事業・活動が行われていると思いますか。 | 13 | 2 | 0 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が81.3%、「どちらともいえない」は12.5%、「無回答・非該当」は6.2%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 10.施設に対する意見等を気軽に言えるような環境・雰囲気になっていますか。 | 11 | 3 | 1 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が68.9%、「どちらともいえない」は18.7%、「いいえ」は6.2%、「無回答・非該当」は6.2%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|---|---|
| 11.施設は利用者からの意見や提案に対してすぐに対処してくれますか。 | 10 | 3 | 0 | 3 |
| この項目では「はい」の回答が62.6%、「どちらともいえない」は18.7%、「無回答・非該当」は18.7%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 12.施設に苦情や意見があった場合、プラザにそれを伝える方法について知っていますか。 | 3 | 4 | 7 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が18.7%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は43.8%、「無回答・非該当」は12.5%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 13.あなたは施設の職員に気軽に話をしたり、相談したりすることができますか。 | 11 | 2 | 2 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が68.8%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」は12.5%、「無回答・非該当」は6.2%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 14.子どもや中高生同士のトラブルがあった時、施設の職員は間に入ってくれますか。 | 7 | 5 | 1 | 3 |
| この項目では「はい」の回答が43.9%、「どちらともいえない」は31.2%、「いいえ」は6.2%、「無回答・非該当」は18.7%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 15.職員は個々の利用者の状況などを考えた接し方をしていると思いますか。 | 10 | 4 | 0 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が62.5%、「どちらともいえない」は25%、「無回答・非該当」は12.5%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 16.施設の職員に相談をした内容が、他人に漏れていたというような経験はありませんか。 | 4 | 2 | 8 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が25%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」は50%、「無回答・非該当」は12.5%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 17.障がいのある利用者への対応は、十分なされていると思いますか。 | 7 | 7 | 0 | 2 |
| この項目では「はい」の回答が43.7%、「どちらともいえない」は43.7%、「無回答・非該当」は12.6%、「いいえ」は0%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |

| | | | | |
|---|----|---|----|---|
| 18.施設の施設やトイレ等の設備は、利用しやすいように配慮がなされていると思いますか。 | 13 | 2 | 0 | 1 |
| この項目では「はい」の回答が81.3%、「どちらともいえない」は12.5%、「無回答・非該当」は6.2%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 19.台風、地震、火災が起きたときは、どのように避難するかなど、施設の職員から聞いていますか？ | 0 | 3 | 13 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が0%、「どちらともいえない」は18.7%、「いいえ」は81.3%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。 | | | | |
| 20.施設では地域の人たちと連携しながら活動が行われていると思いますか。 | 11 | 4 | 1 | 0 |
| この項目では「はい」の回答が68.8%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は6.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。 | | | | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

| | | |
|--|--|------------------------------|
| No. | 共通評価項目 | |
| | カテゴリー1 | |
| 1 | リーダーシップと意思決定 | |
| | サブカテゴリー1(1-1) | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している | ○非該当 |
| 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている | ○非該当 |
| カテゴリー1の講評 | | |
| <p>理念・方針は法人の職員倫理綱領で職員に周知し、利用者には活動内容を発信しています</p> <p>理念や方針を職員に対し事業計画を年度始めに配付して説明し、必要に応じて適時再確認しています。同様に法人の職員倫理綱領を非常勤を含む全職員に配付し、昼のミーティング時に毎回読み合わせをおこなっています。職員倫理綱領はエントランスとフロント内に掲示し広く周知を図っています。利用者向けには入会説明会で方針や活動内容を伝え、法人広報誌やホームページ・パンフレット・プログラム・フロント前の資料で周知しています。また、乳幼児・小学生向けのおたより、中高生向けにSNSでの発信など世代別の情報提供にも取り組んでいます。</p> <p>理念の浸透と実現に向けた法人の仕組みのほか、施設独自の取り組みも実施しています</p> <p>理念の実現に向け、法人はオンラインで事業計画説明会を実施するほか、倫理綱領委員会を設け、担当者が出席して組織の方針の共有を図る仕組みがあります。また、職員倫理綱領の全職員配付と毎日の読み合わせを実施しています。新年度ミーティングでは組織系統図や担当表を配付して職員の役割と責任を説明し、中途採用者には入職オリエンテーションで説明しています。施設全体の業務マニュアルや各部屋独自のマニュアルを作成し、職員会議や日常的な相談対応を通じて方向性の舵取りをおこない、職員の企画や計画が方針に沿っているか確認しています。</p> <p>重要案件はさまざまな会議で伝達され、施設で情報共有を徹底する仕組みを整えています</p> <p>法人からの重要案件は、運営調整会議や児童館館長会、運営委員会、理事会など会議で伝達されます。施設独自の重要案件の決定は指導職会議を最終決定の場としています。決定事項は職員会議で報告し、決定経緯も含めて共有しています。現場裁量の内容は担当から指導職へ相談の上、職員会議で共有しています。欠席職員への周知は、職員会議記録の回覧や各部門ミーティング、個別報告でおこない、記名チェックで周知漏れのないように確認しています。利用者への周知はおたよりの配付や掲示で周知するほか、区のルールに従った情報開示をおこなっています。</p> | | |

| カテゴリ-2 | | |
|---|---|----------------------|
| 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | | |
| サブカテゴリ-1(2-1) | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | 評点(000000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(2-2) | | |
| 実践的な計画策定に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している | | 評点(000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | ○非該当 |
| 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる | | 評点(00) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | ○非該当 |
| カテゴリ-2の講評 | | |
| <p>多様な意見を収集する機会を設けて反映する仕組みを整え、運営と改善に活かしています</p> <p>保護者の意向把握のため、茶話会やゆいゆいひろば・アンケート・連絡帳・個人面談・日々の会話を通じて情報を収集しています。こどもの意見や要望はアンケートや、施設を利用する小中高生との意見交換の場である「なんで～も委員会」で聞き取り、職員が回答を掲示しています。職員の意向は、各ミーティングや日々の会話・面談・希望調査などで把握し、年間大型行事の企画にも反映させています。保護者とこどもの要望の違いを埋める努力もおこなっており、多角的な視点で運営の改善に取り組んでいます。</p> <p>地域のニーズを反映した法人による中長期計画をもとに毎年の事業計画を策定しています</p> <p>地域懇談会や赤坂地区運営会議、ケース会議を通じて地域の福祉ニーズを把握しています。また、研修や港区児童館長会、東京都社会福祉協議会からの情報提供により、福祉事業全体の動向を把握しています。これらの情報をもとに、法人としてプラザと学童クラブ運営について5年ごとのプロポーザル方式に合わせた5年間の計画を立て、年度ごとに調整しています。さらに、令和6～8年度の中期事業計画を策定し、毎年の事業計画に反映させています。法人本部による事業計画説明会をオンラインで開催し、職員全体で情報を共有する仕組みを整えています。</p> <p>計画の確認と見直しを定期的におこない継続的に目標の達成を目指す仕組みがあります</p> <p>毎月の施設課長会や児童施設運営調整会議で、職員体制や実施実績、今後の計画を報告し、進捗状況を確認しています。各部門や指導職ミーティングでは毎月振り返りを実施し、今後の方向性を示しています。年度始めに行事などの活動計画を立案し、担当を振り分けています。企画書は反省までを含め、次年度に活かす仕組みがあります。反省は部門別ミーティングや昼のミーティングで共有し、部門を超えて活かす仕組みがあります。港区児童館等運営マニュアルや職員用各部屋マニュアルは年度ごとに確認・更新し、期間を設けて読み合わせをおこなっています。</p> | | |

| カテゴリ-3 | | |
|--|---|-------------------------|
| 3 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリ-1(3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。 | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | ○非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | ○非該当 |

| サブカテゴリ3(3-3) | | |
|--|--|----------------------|
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 |
| | | 5/5 |
| 評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | ○非該当 |
| 評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | ○非該当 |
| カテゴリ3の講評 | | |
| コンプライアンスと人権尊重の意識を定期的に高めるさまざまな取り組みがあります 区のマニュアルなども取り入れた施設独自の「なんで～も業務マニュアル」を作成して年度始めに読み合わせているほか、法人の職員倫理綱領と職員行動規範を日々の読み合わせや研修で周知しています。人権センターに依頼した施設内研修や入職オリエンテーションを実施するほか、職員倫理綱領委員会が主導して理解度テストを実施し、定期的な確認をしています。また、ハラスメント対策として管理職は管理職研修を受講しているほか、法人独自の窓口や区の公益通報窓口の職員周知、法人の離職防止委員会の活動などでパワハラへの意識向上を図っています。 | | |
| 利用者の意見・要望・苦情への対応と虐待防止に対する組織的な体制を整備しています 苦情解決制度や相談先を施設入口と廊下に掲示し、利用者に周知しています。意見・要望・苦情に組織的に対応する体制を整備し、館長への報告後、ミーティングで共有し、必要に応じて法人本部や区所管課へ報告する仕組みがあります。虐待防止は外部研修や施設内研修を通じて人権意識の向上に努め、職員の言動を相互に振り返り、気になる事例は学校と連携して情報交換をおこなっています。入学時には保育園との引き継ぎも実施しています。虐待が疑われる場合、職員は館長への報告や子ども家庭支援センター、児童相談所への通報する体制を整えています。 | | |
| 地域の子育て支援拠点として積極的な地域交流で開かれた施設づくりに取り組んでいます 地域へのおたより配付や外部掲示板、法人広報誌、地域懇談会での情報開示をおこない、透明性の高い運営を心がけています。港区館長会や赤坂支所運営会議などの地域関係機関ネットワークに参画し、地域の一員としての役割を果たしています。併設の特別養護老人ホームや近隣児童施設、地域企業などとの交流、地域の祭りへの参加など、多様な地域交流活動を実施しています。また、地域の子育て支援拠点として、茶話会、フードドライブ、古着リサイクルなどの公益的な取り組みを通じて、地域の福祉ニーズに応え、開かれた施設づくりに取り組んでいます。 | | |

| カテゴリ4 | | |
|--|--|---------------------------------|
| 4 | リスクマネジメント | |
| サブカテゴリ1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(00000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | ○非該当 |
| サブカテゴリ2(4-2) | | |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | ○非該当 |
| カテゴリ4の講評 | | |
| <p>安全を最優先し、子どもたちを守る施設の安全管理に関する総合的な取り組みがあります</p> <p>施設独自に安全管理マニュアルを作成し、毎年安全計画を見直し、全職員で確認しています。各部屋使用時には必ず職員が見守りに入り、子どもたちの安全に配慮しています。インシデントはミーティングで共有し、欠席者は議事録で確認しています。怪我や事故の再発防止策は部門別ミーティングで検討し、昼のミーティングで全体に共有しています。毎年小学校と連携して通学路点検を実施し、児童の安全確保に努めています。また、施設安全委員会、安全衛生委員会、感染症検討委員会で訓練の工夫をおこない、事故事例をもとに点検や検討を実施しています。</p> <p>災害や深刻な事故等に遭遇した場合でも、迅速かつ適切な対応ができるよう備えています</p> <p>自治体の指示に従い運営をおこない、自治体が作成した危機管理マニュアル等に基づいて緊急時の対応を実施しています。港区震災復興マニュアルをフロント内に設置して職員がいつでも確認できる状態にしています。事業継続計画については、自治体の指示にもとづいて策定し、職員、利用者、関係機関に周知する体制を整えています。避難経路は外国語版も掲示し、多言語対応をおこなっています。安全計画等は保護者会で周知し、利用者との情報共有を図っています。定期的な訓練や見直しをおこない、常に最新の状況に対応できるよう努めています。</p> <p>プライバシーマークを取得して個人情報保護に対する厳格な管理体制を整えています</p> <p>個人情報保護方針を法人のホームページで公開し、プライバシーマークを取得して厳格な管理体制を整えています。毎年オンライン研修とテストを実施し、社内監査で定期的に確認しています。個人情報保護体制図をフロント内に掲示し、重要書類は鍵付き書庫で管理しています。施設独自の業務マニュアルと自治体のマニュアルを使用し、個人情報保護法の趣旨を踏まえた規程・体制を整備しています。個人情報保護方針等をフロントに掲示し、おたよりに記載して利用者に周知を図っています。</p> | | |

| カテゴリ-5 | | |
|--|--|------------------------|
| 5 職員と組織の能力向上 | | |
| サブカテゴリ-1(5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | ○非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | ○非該当 |
| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | ○非該当 |
| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇) | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | ○非該当 |

| サブカテゴリ-2(5-2) | | |
|--|--|---------|
| 組織力の向上に取り組んでいる | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 3/3 |
| 評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に 活かす仕組みを設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | ○非該当 |
| カテゴリ-5の講評 | | |
| <p>幅広く人材の確保に努め、本人の希望を確認して適材適所の配置をおこなっています</p> <p>法人は採用・定着・育成における中長期的な人材戦略を策定し、インターンシップや職業体験、SNSの活用、対象者の拡大、就職説明会の実施など多様な取り組みをおこなっています。職員紹介制度や施設外部の掲示板での募集も活用し、幅広く人材の確保に努めています。常勤職員の採用は本部で、非常勤職員の採用は現場でおこなっています。人員配置については、面談で本人の希望を確認した上で、施設の体制を考慮し適材適所の配置をおこなっています。非常勤職員は部門に特化した人材を採用することが多く、専門性を活かした配置を心がけています。</p> <p>体系的な人材育成と研修制度で組織的に職員の成長を支援する仕組みがあります</p> <p>人事考課表を用いたキャリアパスを設定し、人事考課リーダーが職員にフィードバックする仕組みがあります。職層別研修や昇格者研修を実施し、長期的な人材育成体制があります。他にも施設内研修、法人や分館との連携研修、新任研修から管理職研修まで幅広い研修体系があり、オンラインや在宅受講もあり受講を勧めています。外部研修後は昼の職員ミーティングと報告書で報告し、知識の共有を図っています。指導職には研修や面談を通じて組織的な支援をおこない、部門別ミーティングでは職員の気づきや工夫を共有し、サービスの質向上に活かしています。</p> <p>職員の意識や意向を把握して意欲向上を促し、チームワークの強化を図っています</p> <p>館長は部門別ミーティングと面談を通じて職員の意識や意向を確認し、ストレスチェックやリフレッシュ休暇取得制度を導入して職員の心身の健康に配慮しています。職員のやりたい気持ちを積極的に取り入れ、職員の特技を活かせる役割を与え、やりがいを創出しています。一方で、全職員が多様な業務に関わることで対応力を向上させ、職員が担当を越えて積極的に助け合っています。行事や担当決めではさまざまな職員の組み合わせを工夫し、チームワークの向上を図っています。休暇取得のしやすさなどワーク・ライフ・バランスの向上にも努めています。</p> | | |

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

新型コロナウイルス感染症の流行で自粛していた活動を元に戻し、子どもたちがのびのびとやりたいことができるようにすることを重要課題としました。一方で、コロナ流行前から在籍している職員が少ない状況であったため、いろいろな行事を丁寧に組み立てることを目標に設定しました。行事未経験の若い職員が多いため、先輩職員が手取り足取り企画書の書き方などから細かく指導し、担当を2人1組制にしました。また、館長の助言や他の施設への研修派遣、港区の館長会議での事例共有を参考にしました。具体例として、学童クラブ児童のお楽しみである、子どもたちの意見を取り入れ、リクエストにもとづいた手作りおやつやランチパーティーなど、食をテーマにした企画を増やしました。その結果、個包装のお菓子提供が主だったおやつメニューが、手作りやお祭り屋台風などバラエティに富んだおやつタイムになりました。他にも、おやつメニューにラーメンやフライドポテト、季節のおやつ(かき氷、お月見団子、スイートポテト)など工夫ができるようになりました。今後の課題として、港区の方針変更に柔軟に対応することや、併設している高齢者施設との連携を深めることを挙げています。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

施設では、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、コロナ禍の影響で数年間自粛していた食に関するさまざまな行事や活動を戻す取り組みをおこないました。課題としては、行事や活動を自粛していた期間に、コロナ禍以前の職員と若い新人職員の入れ替わりが多くあったため、コロナ禍以前の従来の行事を経験していない新人職員のために、さまざまな行事や活動を一つ一つ丁寧に組み立てることを重要課題と設定しました。新人職員に対して、館長が事前にアドバイスするほか、先輩職員が手取り足取り企画書の書き方などから細かく面倒を見ていくため、先輩職員との2人1組制を導入しました。また、他の施設に研修に行き学んできたり、港区の館長会議での事例の共有を参考にしたり、分館の青山館のお祭りに職員を派遣したりしました。さらに、行事や活動に参加や利用できる人数を徐々に増やし、人数制限をだんだん解除していきました。活動は今後も継続し、満足せず第一歩であると、これからも行事や活動を増やしていきたいとしています。加えて、コロナ禍で交流が制限されていた併設している高齢者施設との連携再開への計画があり、取り組みに期待します。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

施設では前年度、ICT化の促進を重要課題として掲げ、時代に合わせた利用者の要望に応えることを目指しました。具体的な取り組みとして、SNSの活用やホームページの更新、オンラインフォームを使った企画申し込みや学童クラブの入会申し込みを開始しました。また、区の方針に従い学童クラブ児童見守りシステムを導入し、連絡帳のデジタル化を進めました。取り組みの結果、ホームページの更新や中高生へのSNS利用は好評でしたが、オンラインフォームを使った企画申し込みはほとんどありませんでした。学童クラブの入会申し込みも紙ベースの方が多く結果となりました。新たな課題として、デジタルとアナログの両方を並行しておこなうことで職員の手間が増加しています。さらに、保護者によってはデジタル化についていけない場合もあり、ニーズの把握が難しい状況です。今後の方向性として、保護者と子どもそれぞれにとっての便利さを区別し、適切なニーズ把握に努めていきます。残された課題として、完全なペーパーレス化が難しい点があります。今後は、時間をかけて地道に取り組みを続け、技術の進歩や利用者の入れ替わりに合わせて改善を図っていく予定です。

| | |
|-------------------|--|
| <p>目標の設定と取り組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった |
| <p>取り組みの検証</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| <p>検証結果の反映</p> | <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

施設では前年度、ICT化の促進を重要課題として掲げてさまざまな取り組みを進めました。具体的には各種マニュアルの電子化、学童クラブ児童見守りシステムの導入、職員の勤怠管理、連絡帳のデジタル化、SNSの活用やホームページの更新、オンラインフォームを活用した学童クラブの入会申し込みや企画申し込みなどを開始しました。取り組みの結果、SNSの活用など、子ども向けのICT化は好評であったものの、保護者によってはICT化についていけない保護者もいたため、一概に時代に合わせるのは難しいと感じる結果となりました。また、職員によっても得意不得意があり、研修や引き継ぎは実施しているものの、エラーが起きると直せないため限られた職員だけが担当する現状となっています。さらに、段階的な導入で、デジタルだけでなく紙などアナログでも対応するため、職員の手間など負担が逆に増えています。地域的に利用者の入れ替わりが多いため、職員の地道な対応と、ICTの普及や技術進歩など時間での解決が期待されます。利用者も職員もお互いに負担が軽減されるよう、ICT化を進めつつ、継続的な説明の機会提供や分かりやすい案内作成などの支援する取り組みに期待します。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|--|-----------|---|
| サブカテゴリー1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している 評点(〇〇〇〇) | | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | ●あり ○なし | 1. 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 3. 事業所の情報を、行政や保育所、幼稚園等に提供している |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 4. 子どもや保護者の問い合わせや見学等の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している |
| | ○非該当 | |
| サブカテゴリー1の講評 | | |
| <p>学童クラブの情報は、さまざまな媒体で情報発信をし、子どもや保護者に提供しています</p> <p>学童クラブの情報は、自治体や法人のホームページ、法人作成の施設案内リーフレット、自治体発行の「広報みなと」などで情報を発信しています。また、小学校の学校説明会へ職員が参加し、学童クラブや施設について紹介しています。その際、施設案内のリーフレットや施設全体のプログラム活動のおたよりの配布をおこない、子どもや保護者に情報を提供しています。そのほか、「港区学童クラブ等入会案内小学生の居場所について」は、施設の窓口に設置し、来館した際に学童クラブの情報が得られるようにしています。</p> <p>法人作成のリーフレットやプログラムのおたよりなどは、分かりやすい構成にしています</p> <p>法人作成のリーフレットやプログラムの予定などの表記は、写真やイラストで構成し、学童クラブや利用できる施設を掲載するなど、分かりやすくしています。また、ポスターとして掲示するものは、ルビを振るなどの配慮をおこなっています。外国籍で、日本語が困難な場合は、外国語対応の職員や通訳翻訳機を活用し、対応体制を整えています。保育園や幼稚園などには、自治体を通して配布する冊子で、学童クラブの情報を提供しています。そのほか、小学校へは、プログラム活動のおたよりを配布し、在学している小学生に情報が得られるようにしています。</p> <p>提供している情報の見直しは定期的におこない、見学は随時開催し、対応しています</p> <p>法人のホームページやリーフレットは、法人と施設の広報担任職員が、毎年見直しをおこない、年度途中で変更があった際は、都度更新をおこなっています。学童クラブの見学は、随時開催しており、特別な申し込みの必要はなく、来館した際は、全職員が対応する体制を整えています。実際の見学では、学童クラブで利用している部屋や、そのほか利用できるアリーナやクラフトルームなどの各部屋の案内をしています。また、施設独自の取り組みや自治体の方針なども伝えています。そのほか、学童クラブで提供するおやつなどの質問に丁寧に回答しています。</p> | | |

| サブカテゴリー2 | | | |
|--|---|-------------------|-----|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 8/8 |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得ている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の理解を得るようにしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 5. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 | |
| サブカテゴリー2の講評 | | | |
| <p>学童クラブの入会時には、入会説明会を実施し、保護者やこどもの意向を確認しています</p> <p>学童クラブの入会時には、入会説明会を実施し、学童クラブのしおりの読み合わせをおこない、基本的ルール・重要事項について説明しています。保護者が提出した書類はファイルにまとめています。発達面で特に配慮が必要な子どもに関しては、生活状況調査書で配慮点を確認し記録しています。こどもの個人情報については、保護者に同意書の提出をお願いし、同意が得られない事項がある場合は、一覧表を作成し職員間で共有を図っています。</p> <p>入会後は、こどもが学童クラブでの新しい生活が慣れるための配慮をおこなっています</p> <p>保護者が提出する入会申込書類で、こどもに関する要望などを把握し、保管しています。集団が苦手な新1年生には、集団のなかに入れるよう職員が促していき、新生活に慣れる配慮をしています。おやつの中には、気の合うともだちのグループで食べられる配慮をし、ほかのこどもも、楽しい雰囲気と一緒に食べるように声かけをしています。入会前に在籍していた保育園とは、こどもの関する情報を得るための連携を図っています。こどもや保護者には、学校と学童クラブでの新しい生活が始まるため、睡眠や生活リズムが整えられるように伝えています。</p> <p>学童クラブを退会する際は、相談体制があることを伝え卒室パーティーを開催しています</p> <p>学童クラブを退会する際は、こどもに学童クラブ以外での施設内利用を勧めるなどの声かけをおこなっています。また、困ったことがあれば、いつでも相談体制が整っていることを、こどもや保護者に伝え、安心感につなげています。学童クラブの職員は、こどもが退会した後を見据えて、自立した生活が送れるよう、サポート体制を整えています。そのほか、3年生が退会や第2学童クラブに移行する際は、卒室パーティーを開催するなど、みんなでお祝いする機会を設けています。</p> | | | |

| サブカテゴリー3 | | |
|---|--|-------------------------|
| 3 | 個別状況の記録と計画策定 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 10/10 |
| 評価項目1 子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している | | 評点(0000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している | ○非該当 |
| 評価項目2 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している | | 評点(000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している | ○非該当 |
| 評価項目3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している | | 評点(000) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている | ○非該当 |
| サブカテゴリー3の講評 | | |
| <p>学童クラブでは、育成支援の目的に向かい、こどもたちの成長を大切に見守っています</p> <p>学童クラブでは、学校から自宅に帰るまでの利用時間を活用し、誕生会や季節のイベントの参加、日直などの当番活動をおこなっています。また、職員は、遊びと生活の場である育成支援の目的に向かって、こどもたちの成長を見守ることを大切にしています。こどもの成長や状況の変化は、日誌に記録をするとともに、連絡帳を活用して把握をおこない、必要な援助に取り組んでいます。発達面で特に配慮が必要なこどもは、生活状況調査書にもとづいて、成長した姿を保護者と共有しています。そのほか、保護者会では、育成支援について説明しています。</p> <p>こどもに関する情報や状況、支援方法についての話し合いをおこない、記録しています</p> <p>学童クラブでは、こどもに関する必要な情報を個人記録として作成しています。学童クラブ内で見られたこどもの様子や、保護者からの情報を都度、記録しファイルにまとめ、職員がいつでも振り返りができるように保管しています。また、月1回のミーティングでは、学童クラブの職員が参加し、情報収集したうえで改善点を話し合い、ミーティング議事録に記録しています。毎日のミーティングでは、施設の全職員が参加し、全体で共有事項を話し合っています。発達面で特に配慮が必要なこどもには、生活状況調査書を用いて保護者と支援内容を共有しています。</p> <p>学童クラブの職員は、こどもに関する記録を共有、全体の職員にも周知を図っています</p> <p>学童クラブの職員は、こどもに関する記録書類をファイルにまとめ、いつでも確認することができます。また、ミーティングで話し合ったことを、共有ノートに記録をおこない、共有を図っています。出席できなかった職員は、閲覧したらサインをするなど、漏れがないよう共有に努めています。施設では、学童クラブ担当の職員も含めて、一日に3回、ミーティングを実施、出勤時間が違って情報共有に努めています。そのほか、学童クラブ内での検討事項や取り組み内容を、昼のミーティングで全体に周知を図り、承認を得られるように取り組んでいます。</p> | | |

| サブカテゴリ-5 | | | |
|---|--|------------------|-----|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どものプライバシーに配慮して援助している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の援助の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮して援助している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 学童クラブ内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-5の講評 | | | |
| <p>職員は、こどもに関する個人情報保護に努め、プライバシー保護も徹底しています</p> <p>こどもの情報を外部とやりとりする必要がある場合は、個人情報保護にもとづき、必ず書面で同意を得ています。こどものプライバシー保護のため、こどもの情報をほかの職員と話しをする時は、周囲のこどもや、施設利用者に聞かれない配慮に努めています。保護者と電話対応する時は、別室で話すなどプライバシー保護の徹底に取り組んでいます。また、個人情報保護の研修に参加し、学びを深めています。そのほか、排泄で失敗した際は、まわりのこどもに気づかれない配慮をし、着替えの時は同性介助でおこなうなど、こどもの羞恥心にも配慮しています。</p> <p>職員は、人権保護の大切さの共有に努め、こどもの人権に配慮した対応を心がけています</p> <p>学童クラブの法人は、個人情報保護体制が整っている施設に対して認められるプライバシーマークを取得し、学童クラブのこどもを含めた利用者のプライバシー保護の徹底に努めています。また、職員はこどもの人権に関する研修に参加し、人権保護の大切さをほかの職員と共有に努めています。職員は、こどもの人権を尊重し、こどもの何気ない言葉にも耳を傾け、気持ちよく帰宅できるように心がけています。そのほか、名前を呼ぶ際は、周りが呼んでいる名前と同じにするなど、人権に配慮した呼び方を徹底しています。</p> <p>こどもと保護者には適切な支援をし、こどものトラブルには再発防止に取り組んでいます</p> <p>学童クラブでは、こどもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した援助をおこなうため、こどもや保護者と日常的に関わり、個人面談や、お迎え時の会話などでも、こども一人ひとりの特性を把握し、理解したうえで適切な支援ができるよう努めています。また、学童クラブ内で暴力やいじめが発生しないよう、学童クラブの職員は、予防と再発防止を徹底しています。こども同士でトラブルが起こった際には、職員間で情報を共有し、原因を究明したうえで対策を立て、再発防止に取り組んでいます。</p> | | | |

| サブカテゴリ-6 | | | | |
|--|--|---|------------------|---------|
| 6 | 事業所業務の標準化 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
| | 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | | 評点(〇〇〇) |
| | 評価 | 標準項目 | | |
| | ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている | | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている | | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-6の講評 | | | | |
| <p>マニュアルは手順を明確にし、一定水準の業務が遂行できるように取り組んでいます</p> <p>学童クラブでは、自治体の児童館運営マニュアル・緊急対応マニュアル・食物アレルギーマニュアル・個人情報保護マニュアルなどで、それぞれの業務手順を明確にしています。また、学童クラブで利用する各部屋のマニュアルも手順を明確にし、職員と共有しています。そのほか、学童クラブの職員は、業務のなかでわからないことが起きた際は、職員間での口頭確認をおこない、各マニュアルも合わせて確認するなどダブルチェックをおこない、一定水準の業務が遂行できるように取り組んでいます。</p> <p>各マニュアルは定期的に見直しをおこない、変更の際は職員に周知、共有を図っています</p> <p>学童クラブの各マニュアルは、毎年確認をおこない、変更や改善を必要とする箇所は更新・追記をおこなっています。さらに、期間を設けて職員間で、マニュアルの読み合わせにも取り組んでいます。自治体から改正や変更がある際は、その都度、見直しをおこない、職員に周知、共有を図っています。そのほか、各部屋のマニュアルは、夏の育成期間までに対応するため、毎年4月から5月にかけて、育成支援に関わる全職員での見直しをおこない、マニュアルを整備するとともに、業務の標準化に取り組んでいます。</p> <p>子どもや職員からの意見を取り入れ、改善をおこない、サービスの向上を目指しています</p> <p>学童クラブでは、提供するサービスの向上を目指し、職員や子どもからの意見、提案の意見収集をおこない、反映に取り組んでいます。子どもからは、コロナウイルス感染症対策前に実施していた手作りおやつの再開を求める意見を取り入れ、2023年度に月1回から再開し、2024年度からは週1回に増やして、子どもが喜ぶ手作りおやつを提供しています。また、職員からの意見では、子どもの交通安全を確保するため、学童クラブから駅まで、送りの回数を2回から3回に増やすなど、安全面に配慮したサービスの改善に努めています。</p> | | | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

| | | サブカテゴリ-4 | |
|---|--|--|-------|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 28/28 |
| 1 | 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じて援助している | 評点(0000) | |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | ●あり ○なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで援助している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め、お互いを尊重しながら協力し合い、関係を豊かに作り出せるよう援助している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか等)に対し、子どもの意見に耳を傾け、感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 4. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | ○非該当 |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>こどもの姿を把握し、支援内容を話し合い、一人ひとりに合った援助に取り組んでいます</p> <p>学童クラブでは、こどもの発達の過程や生活環境の違いを把握し、こども一人ひとりに合った援助に取り組んでいます。職員は、こどもの個人記録を作成し、支援内容を話し合っています。また、健康面や行動に関して気になることが生じた場合、保護者に確認をおこない、必要に応じて学校の担任教諭とも連携を図るなど支援体制を整えています。さらに、新1年生の状況を把握するため、学童クラブの職員は、こどもが通園していた保育園を訪問し、入会前のこどもの成長過程などの確認をおこない、学童クラブでの支援方法の参考にしています。</p> <p>学童クラブでは、異なる年齢のこどもたちが自然に交流できる機会を設けています</p> <p>こども同士が年齢や文化、習慣の違いを認め、互いを尊重しながら協力し合い、より豊かな関係を築ける環境を整えています。学童クラブでは、誕生会やさまざまなプログラム活動を通し、異なる年齢のこどもたちが自然に交流できる機会を設けています。職員は、こども同士がコミュニケーションを図り、健全な関係を築くことができるよう、さまざまな工夫に取り組んでいます。おやつを食べ終わったこどもたちには、ホワイトボードを活用して、質問タイムやなぞなぞ問題を出すなど、こども同士のコミュニケーションのきっかけ作りの場を設けています。</p> <p>こどものトラブルに関しては、こども同士で解決できるように支援をしています</p> <p>発達の過程で生じるこども同士のトラブルに対しては、両方の意見を傾聴しながら、こども同士が納得できるように働きかけています。また、職員はトラブルが複雑にならないように、周りのこどもの話も聞き、こども同士で解決できるように支援しています。さらに、職員は、普段の遊びを通して、こどもとの信頼関係を築き、何かあった時に、直ぐに話しや相談をしてくれる存在になるよう心がけています。発達面で特に配慮が必要なこどもがほかのこどもと、ともに成長できるように特別な存在としてではなく、一緒に過ごす仲間であることを大切にしています。</p> | | | |
| 2 | 評価項目2 日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している | 評点(000) | |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、発達段階にふさわしい遊びと生活を送ることができるよう環境を工夫している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 子どもが集団活動に主体的に関われるよう、援助している | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. 生活や遊びを通して日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう、援助している | ○非該当 |
| 評価項目2の講評 | | | |
| <p>こどもの自発的、主体的な心を育むために、「なんで～も委員会」を開催しています</p> <p>職員は、こどもの自主性や自発性を尊重し、発達に合わせた適切な遊びと生活ができるよう努めています。こどもたちから遊びや生活に対して要望があった際は、「なんで～も委員会」を開催し、こどもの意見を尊重し応えています。職員は、こどもの自発的、主体的な心を育むために、こどもの遊び方に対してすぐに助言やアドバイスをするのではなく、こどもの様子を見守りながら、必要に応じて適切な支援をしています。また、体調不良のこどもが出た際は、遊び部屋である畳部屋を静養室に変更し、安心して休める環境を整えています。</p> <p>職員は集団生活を通して、こどもが主体性を持ち、相手を思いやる気持ちを育んでいます</p> <p>職員は、こどもが主体性を持ち集団活動に関わることができるよう、さまざまな援助に努めています。また、こども同士の関わりを側で見守り、こどもたちだけで解決できる支援を心がけています。集団生活を通してこどもが相手の気持ちに気づき、相手を思いやる気持ちが育めるように援助しています。集団生活が苦手なこどもに対しては、こどものペースに寄り添い、無理に集団のルールを守るのではなく気持ちを尊重し、少しずつ集団生活に慣れるために、こども自身ができそうなことや、興味を持っていることを見つけられるように働きかけています。</p> <p>こどもたちが基本的な生活習慣を身に付け、自立した生活が過ごせるよう指導しています</p> <p>学童クラブの職員は、生活や遊びを通して、こどもたちが日常生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けられるよう、さまざまな支援や援助に取り組んでいます。手洗い場には、正しい手洗い方法のポスターや、こどもが作成した「手あらいをしっかりとろう!」のスローガンポスターを掲示し、意識づけをおこなっています。また、帰りの会では、職員がこどもたちに、ロッカーの正しい使い方や、遊び終わった後の玩具の片付け方について声かけをおこない、こどもたちが自分の身の回りのことを身につけ、自立した生活が過ごせるよう丁寧に指導しています。</p> | | | |

| 3 評価項目3 日常の活動に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
|--|--|--------------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子ども同士が意見を出し合いながら企画や活動をつくり上げていく機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |
| 評価項目3の講評 | | |
| <p>行事では、興味や関心がもてるよう、こどもの要望を聞き、期待感を高めています</p> <p>行事の実施にあたり、子ども自ら進んで取り組み、行事に興味、関心が持てるよう、子どもから何がしたいのか要望を聞き取っています。また、掲示物で予告し、期待感を高めています。そのほか、施設のイベントに、子どもスタッフを募集し、行事の準備段階から関わられるようにしています。行事に向けて達成感を味わえるように、販売する小物づくりを子どもたちが協力して製作をおこなっています。夏のイベントでは、「なんで～もツアー」を開催し、ミニチュア博物館に行き、普段見ることがない展示物を見学するなど、特別感を味わう機会を提供しています。</p> <p>学童クラブでは、行事を開催する際、子どもたちからの意見を取り入れています</p> <p>学童クラブでは、行事を開催する際、子どもたちからの意見や要望を積極的に取り入れ、開催の実現に向けて取り組んでいます。職員は、「なんで～も委員会」を定期的実施し、委員会では、子どもたちが自由に意見を出し合い、行事やプログラム活動に関する要望を聞き取っています。意見や要望に対しては、職員からの回答を記載して廊下に掲示し、子どもたちと共有しています。また、夏休み期間にランチパーティーを企画し、メニュー決めもおこなっています。そのほか、クラブ活動は子どもたちにアンケートを実施し、活動内容を決定しています。</p> <p>保護者とは、こどもの行事に取り組む姿を共有し、理解と協力をお願いをしています</p> <p>学童クラブでは、子どもが意欲的に行事に参加できるよう、施設開催の「サン・サンなんで～もまつり」にかき氷のブースを設け、子どもがスタッフの一員となり、積極的に参加し行事を楽しんでいます。また、行事に対し、保護者の理解や協力を得るため、お迎えに来た時など、こどもの活動の様子や、活躍している姿を伝え、共有に取り組んでいます。直接会えない保護者には、連絡帳に記入し、こどもの成長の共有を図っています。そのほか、保護者には、「サン・サンなんで～もまつり」へのボランティアスタッフを呼びかけ、協力をお願いをしています。</p> | | |
| 4 評価項目4 子どもの主体性を尊重し、学童クラブでの生活が楽しく、快適になるような取り組みを行っている | | 評点(〇〇〇)・非該当1 |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自ら進んで学童クラブに通い続けられるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 共通する生活時間の区切りをつくり、子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している | ○非該当 |
| ○あり ○なし | 4. 【「新・放課後子ども総合プラン」「都型学童クラブ実施要綱」に基づき放課後子供教室と一体型で実施、または連携して実施する場合】 子どもが放課後子供教室の活動プログラムに参加しやすいように連携を取りながら援助している | ●非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>こどもが学童クラブへ進んで通い、行事や活動が楽しみとなるよう取り組んでいます</p> <p>職員は子どもたちに対して、翌日の行事や活動内容を紹介し、学童クラブへ通うことが楽しみとなるよう取り組んでいます。こどもの出欠席については、職員が連絡帳を活用して、学童クラブを利用する月間スケジュールの把握に努めています。また、連絡がなく欠席した場合には、職員が早急に保護者に電話をかけ、欠席理由の確認をおこなうなど、こどもの安全を最優先に考え、迅速な対応を心がけています。お迎え時には、保護者に声をかけ、家庭や学校での様子や学童クラブでの様子を情報交換し、相互理解を図り学童クラブへ通えるよう取り組んでいます。</p> <p>子どもたちが自主的に時間を管理できるように、時間を意識する声かけをしています</p> <p>学童クラブでは、入室後に勉強タイムを設け、その後におやつと決めています。こどもは、生活の流れを理解し、行動しています。職員は、子どもたちが自主的に時間を管理できるように、勉強タイムやおやつタイム、帰りの会の時間を意識するよう声をかけています。また、ホワイトボードには、おやつや帰りの会の時間を掲示しています。学童クラブは、施設内のほかのルームも利用でき、それぞれのルームで開催されるイベントや活動の企画案内を掲示しています。こどもは自分の興味や関心に合わせ遊びを選択し、自由に活動できる環境を整えています。</p> <p>こどもが安心して活動できるよう環境の工夫に取り組み、交通安全教室も実施しています</p> <p>こどもが安心して活動できるよう、状況に応じ室内環境の工夫に取り組んでいます。学童クラブの室内では、おやつと宿題コーナーのエリア分けをし、宿題をしている時は、大きな玩具を広げて遊ばないなどの声をかけています。また、手洗い場には、お湯がでる注意喚起を掲示し、安全面に配慮しています。そのほか、年1回、児童館主催の交通安全教室に1年生が参加し、交通マナーを学んでいます。2024年度は、学童クラブも警察署へ下校時の交通安全について講話を依頼し、学校から学童クラブまでの道路を安全に歩いて来られるよう取り組んでいます。</p> | | |

| | | |
|---|---|---------|
| 5 評価項目5 子どもが日々の生活を円滑に過ごせるよう、学校等と密に連携を図っている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている | ○非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>学童クラブは、学校との情報共有を図り連携に努め、円滑に過ごす環境を整えています</p> <p>子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報共有を図り連携に努めています。学童クラブの子どもで気になる事があった際は学校に連絡し、副校長や担任教諭と情報交換をおこない、適切な支援に取り組んでいます。また、年度始めには、学校から学童クラブに通う通学路点検に職員が参加しています。災害や有事の際は、学校と学童出席児童引き渡しのルールを定め、安全管理の情報共有を徹底しています。そのほか、子どもが通う学校での下校時間が早まる時などは、副校長より連絡が学童クラブに直接入るなどの体制を整えています。</p> <p>学校とは情報共有を図りながら、子どもが安心して過ごせる場の提供に取り組んでいます</p> <p>学童クラブでは、学校で課題を抱える子どもについて、学校と密に情報を共有しながら、子どもの気持ちに配慮した支援に取り組んでいます。職員は、クラス担任教諭と定期的に連絡を取り合い、子どもの状況について情報交換をおこなう体制を整えるほか、子どもが必要とする援助ができるように努めています。また、職員は、子どもの学校での様子を確認するため学校見学に行き、子どもの状況確認に取り組んでいます。そのほか、学校には、学童クラブができる支援を明確に伝え連携しながら、子どもが安心して過ごせる場の提供に取り組んでいます。</p> <p>配慮が必要な子どもの支援にあたっては、学校と支援方法の共有に努めています</p> <p>学童指導員の職員は、障害のある子どもや発達面で特に配慮が必要な子どもの支援にあたって、学校の担任教諭と密に連携を図りながら支援方法の共有に努めています。また、職員は子どもの特性や配慮事項の把握に努め、適切な支援が学校と同じ対応となるよう取り組んでいます。そのほか、学童クラブでは、学校には、どのような支援を提供できるのかを明確に伝え、学校と共通の理解を図り、子どもが安心して学童クラブで生活できる支援と環境作りに取り組んでいます。</p> | | |
| 6 評価項目6 子どもがおやつを楽しめるよう援助している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している | ○非該当 |
| 評価項目6の講評 | | |
| <p>学童クラブでは、季節に合った手作りおやつや誕生日ケーキの提供をおこなっています</p> <p>学童クラブでは、子どもが楽しく落ち着いておやつを食べることができる雰囲気作りのために、おやつ専用の席を用意し、子どもが簡単に見つけられるように目印として旗を立てています。また、おやつを選ぶ際には、子どもと一緒にチラシを見ながら希望するおやつを取り入れるようにしています。そのほか、週1回は、季節に合った手作りおやつの提供をおこない、子どもたちは、作り立てのおやつを楽しみにし、味わっています。誕生日会の日には、手作りケーキを提供し、特別感を味わえるなど、子どもたちのおやつの時間が楽しみになるよう工夫しています。</p> <p>学童クラブでは、子どものおやつの提供時間を定め、保護者とも共有を図っています</p> <p>子どもの来所時間や夕食の時間帯を考慮し、学童クラブではおやつの提供時間を15時から16時半までの1時間半に設定しています。また、時間内であれば、子どもの自由なタイミングでおやつを食べられるよう配慮しています。保護者とは、子どものおやつの内容や食べる時間について共有し、家庭の状況にも配慮をおこなっています。学童クラブでは、おやつが、子どもにとって楽しい時間になることを大切にしており、子どもの意見を聞きながら、おやつ内容の工夫に取り組み、法人の栄養士とも連携し、バラエティ豊かなおやつの提供に努めています。</p> <p>職員は、子どもの食物アレルギー対応に努め、安全面に配慮をおこない提供しています</p> <p>子どもの食物アレルギー対応として、アレルギー成分が入っていないおやつを提供しています。おやつを注文する際は、職員2人でチェックをおこない発注し、提供の際もチェックをし、安全面に配慮しています。職員は、自治体の児童館・学童クラブにおける食物対応マニュアルにもとづき対応に努めています。さらに、対応をおこなった際は、緊急時対応経過記録表に記載し、再発防止に努める体制を整えています。職員がおやつの準備をする際はエンボス手袋・マスク・バンダナ・エプロンを着用の上、手指消毒を実施し、衛生管理にも取り組んでいます。</p> | | |

| | | |
|--|--|-----------|
| 7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている | ○非該当 |
| 評価項目7の講評 | | |
| <p>こどもには、手洗い習慣が身につく工夫をおこない、安心して遊べる環境を整えています</p> <p>こどもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう、さまざまな工夫に取り組んでいます。各部屋には職員が配置され、こどもたちと遊ぶだけでなく、安全に配慮しながら常に見守りをおこない、安心して遊べる環境を整えています。また、こどもたちが外から帰ってきた時やおやつ前に手を洗う際には、手にスタンプを押し、スタンプが消えたら手が洗えているという目安を設け、楽しみながら手洗いを習慣化できるよう工夫しています。そのほか、感染症防止のため、室内の換気、冬場は加湿器、備品の消毒を徹底しています。</p> <p>こどもが怪我や体調に変化があった際は、緊急性に応じ病院での受診体制を整えています</p> <p>学童クラブでは、こどもが怪我や体調に変化があった際は、緊急性に依拠して職員が病院に連れて行く体制を整え、迅速な対応をおこなっています。また、保護者には、すぐに連絡をおこない、対応内容を詳しく報告しています。受診に際しては、一番近い距離の病院での受診を基本とし、保護者から特定の病院を指定された場合には、移動距離に応じて柔軟に対応しています。また、事故や体調不良が発生した際、職員は、管理課や上司に迅速に連絡、報告をおこない、報告書には、内容を詳細に記録して再発防止に向け取り組んでいます。</p> | | |
| 8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 子どもの出欠席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている | ○非該当 |
| 評価項目8の講評 | | |
| <p>保護者の就労や事情に合わせた支援に努め、保護者間で交流を持てる場を提供しています</p> <p>保護者には、子育てや就労などの個々の事情に合わせた支援をおこなっています。学童クラブでは、年に2回の個人面談を実施し、対応が必要な支援の把握に努めています。また、保護者から要望があった際には、その都度、個別の面談の機会を設けて、丁寧な対応を心がけています。保護者会では、学童クラブの運営に関する事項やおやつ代、安全計画などの情報やこどもの様子を保護者に伝え周知、共有を図っています。そのほか、保護者同士が交流できるよう、保護者会や行事のボランティアとして参加を依頼するなど、交流が持てる場を提供しています。</p> <p>保護者とは、こどもの成長した姿を共有し、信頼関係の構築に取り組んでいます</p> <p>保護者のお迎えの際は、こどもの様子や、成長が見られたことなどを伝えコミュニケーションを図り、保護者から相談しやすい雰囲気作りに努めています。年度後半の保護者会では、一年間を振り返り、こどもの成長した姿を喜び共有しています。また、行事のときにはボランティアを依頼し、職員とも交流を図っています。そのほか、個人面談では、家庭での様子を聞き取り、学童クラブで対応できることを話し合っています。職員は、面談記録でこども一人ひとりの情報を把握し、共通した対応に努め、保護者との信頼関係の構築に取り組んでいます。</p> <p>保護者とは個人面談を通して、共通認識を持ち適切なこどもとの関わり方に努めています</p> <p>こどもの様子や発達の状況について、保護者と共通認識を持つために、個人面談の機会を設けています。面談で得られた情報は、記録をおこない、職員間で共有を図り、共通認識のもと、適切なこどもとの関わり方に努めています。また、職員は、こどもの出欠席の確認を必ずおこない、連絡なしでの欠席があった場合には、早急に保護者へ電話連絡を入れ、状況確認に取り組んでいます。学童クラブでは、こどもが安全に過ごせる環境を確保するために、保護者との協力体制を整えています。</p> | | |

| | | |
|--|--|--------|
| 9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 学童クラブの行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが地域の子どもや大人と交流できる機会を確保している | ○非該当 |
| 評価項目9の講評 | | |
| <p>こどもたちには、地域資源を活用し、さまざまな体験や交流の機会を提供しています</p> <p>学童クラブでは、地域資源を活用し、こどもたちに、さまざまな体験や交流の機会を提供しています。警察署と交通安全指導を実施し、交通ルールを学ぶ機会を設けています。また、図書館の司書による絵本の読み聞かせをおこない、本に親しみを持てるようにしています。さらに、他の学童クラブとは施設にある体育館を活用して、夏休みにイベント開催をおこない、交流を図っています。そのほか、高齢者施設とは、餅つき大会や、畑で芋の種と一緒に植え、収穫までの活動を楽しむなど、世代を超えた交流の場を提供しています。</p> <p>こどもがさまざまな機会の人々に関わり、豊かな経験につながる場を設けています</p> <p>学童クラブでは、施設の行事に民生委員や地域の方々にボランティアとして協力依頼をしています。こどもたちには、行事などを通して、さまざまな人々に関われる機会を設けています。また、地域探検として、技術館や、テレビ局屋上の養蜂場の見学の機会を設け、こどもたちにいつもと違う、貴重な体験を提供しています。そのほか、外部団体とは連携を図り、アニマルセラピーや残布を使用したこども向けのパッチワーク講座を実施し、手先を使ったものづくりの楽しさを体験するなど、豊かな経験につながる場を設けています。</p> | | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|--|---|
| 評価項目 | 6-4-2 | 日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している |
| タイトル① | 施設では、学童クラブや多時代のこどものニーズに沿った環境の提供に力を入れています | |
| 内容① | 施設では、大型児童センターの目的や役割を理解し、学童クラブや施設利用のこどもに健全な遊び場の提供をおこない、心身ともに健やかな成長と豊かな情操を育む支援に取り組んでいます。施設では、学童クラブの集団生活が豊かに展開される工夫や乳幼児の子育て広場の充実を図るとともに、中高生には、音楽活動やメディアルームでの活動を通して、こどもの居場所を作るなど、多時代のニーズに沿った環境の提供に力を入れています。また、こどもの意見を、「なんで～も委員会」で取り入れ、職員と協働のもと、多角的な活動の実現に向け取り組んでいます。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|--|-------------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-9 | 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている |
| タイトル② | 学童クラブではイベントを企画し、高齢者施設との連携や世代間交流に力を入れています | |
| 内容② | 学童クラブでは、併設している高齢者施設との連携や世代間交流に力を入れています。年間を通して、感染症に十分留意しながらイベントを企画し、交流を図っています。施設の中庭を利用し、しゃぼん玉遊びや餅つき大会の開催をおこない、季節を身近に感じながら交流を図っています。芋掘りでは6月に種を植え、11月には芋を収穫するなど、高齢者とともに、生長の喜びを味わっています。そのほか、高齢者施設の厨房を借り、週1回の手作りおやつや、ランチパーティーなど、高齢者施設の協力のもと、食の豊かさに触れるように取り組んでいます。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|--|---|
| 評価項目 | 3-1-1 | 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる |
| タイトル③ | 地域の歴史と文化をこどもたちに伝え、地域への愛着を育む取り組みに力を入れています | |
| 内容③ | 施設では赤坂の歴史と文化をこどもたちに伝承するため、地域に根ざした多様な活動を展開しています。施設がかつて氷川小学校だったこともあり卒業生から当時の話や思いを聞き、こどもたちに伝えています。また、氷川神社のお祭りへの参加や、地域の伝統芸能である能や歌舞伎の体験や箏の体験など、地域の伝統文化に触れる機会を提供しています。「咸臨丸探検隊」と題した地域探検活動を季節ごとに年4回実施し、地域施設の訪問や防災マップづくりなどをおこなっています。地域の歴史を学ぶ機会を設け、地域への愛着を育む取り組みに力を入れています。 | |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|---|
| 1 | タイトル | 子どもたちの意見や要望を反映するために「なんで～も委員会」を設け、子どもの自発性、主体性を尊重した委員会の展開に努めています |
| | 内容 | 学童クラブは、乳幼児の子どもや小中高生が利用できる大型の児童施設のひとつです。施設では、利用している子どもたちの意見や要望を反映するために「なんで～も委員会」を設けています。子どもたちから委員会の開催を求める声が上がった際には、委員会を設けてリアルタイムに子どもたちの意見を収集し、子どもの自発性、主体性を尊重した委員会の展開に努めています。また、クラブ活動内容のアンケートも実施し、子どものやりたい気持ちに寄り添った対応をおこない、より良い施設運営や学童クラブでの生活が充実して過ごせる環境を整えています。 |
| 2 | タイトル | 施設では、多世代の子どもたちが利用できる居場所作りを目指し、中高生には、今の時代のニーズに対応したSNSで情報を発信しています |
| | 内容 | 施設では、学童クラブを始め、多世代の子どもたちが利用できる居場所作りを目指しています。施設の魅力は、子どもたちが目的に合った部屋を自由に選び、興味に合わせて活動できる設備や環境を提供しています。また、クラブやサークル活動、行事の充実にも取り組んでいます。施設では、より多くの子どもたちに周知してもらうための取り組みをおこなっています。特に中高生には、今の時代のニーズに対応したSNSで情報を発信しています。施設の職員は、中高生が求める情報をタイミングよく把握し、それに応えていくための体制と環境を整えています。 |
| 3 | タイトル | 部門を超えた職員の協力体制により職員全体で子どもたちを見守り、連続して一貫したサポートを提供できる体制を構築しています |
| | 内容 | 施設では、学童クラブ、プラザ、子育て広場のスタッフが部門を超えて協力し合える体制を整えています。行事や担当の組み合わせ、土曜日の勤務体制を工夫し、児童館担当と学童クラブ担当の垣根をなくすよう努めています。学童クラブのポイント送りにはプラザの職員も同行し、土曜日の引き継ぎも全職員が対応できるようにしています。人手が足りない際には部門を超えて協力し合い、学童クラブの職員が乳幼児の活動も担当するなど、柔軟な対応をおこなっています。この取り組みにより、利用者にとっても連続しているため安心するとの評判を得ています。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | 施設は、誰もが利用できる子育て支援施設として、より多くの子どもたちやその保護者に向けた、情報発信のさらなる改善に取り組んでいます |
| | 内容 | 施設は、誰もが利用できる子育て支援施設としての情報発信に取り組んでいます。設立当初から地域の方々に知られ、お祭りや行事にも参加しています。一方、学童クラブの利用を機に知る方もいます。施設では、地域資源の一つとして、多くの子どもたちに活用して欲しいと思案し、相談体制も整えています。同法人の中高生プラザ青山館や自治体、保育園などにチラシを設置し、情報提供に取り組んでいます。今後は、中高生を始め、より多くの子どもたちやその保護者に向けた、情報発信のさらなる改善に取り組み、発展的でオープンな施設を目指しています。 |
| 2 | タイトル | 職員の多様な特技や背景を活かした個々のスキルアップと不得意分野の苦手意識の克服を目指すさらなる取り組みに期待します |
| | 内容 | 職員の出身分野が保育・教育だけでなく心理系や芸術系など多岐にわたることを活かし、個々の得意分野を伸ばしながら苦手分野も克服できるよう取り組んでいます。毎時間の見回りを交代制にし、ローテーションで入ること、全ての業務に対応できる力を養成しています。昼のミーティングでは職員間で得意分野の良い点や自身のやりがいを共有し、モチベーション向上を図っています。面談では職員個々の目標を明確にし、レベルアップを促進しています。今後も、業務負担のバランスにも配慮し、職員が楽しみながら成長できる環境づくり期待します。 |
| 3 | タイトル | ICT化の中で子どもの幸せを中心に据えた支援と家庭事情の理解促進に努めるさらなる取り組みに期待します |
| | 内容 | 学童クラブ児童見守りシステムの導入により、保護者と施設間のコミュニケーションが円滑になる一方で、子どもが何も知らない状態にならないよう配慮しています。保護者に対して、子どもとのコミュニケーションの重要性を伝え、家庭でも事前に情報共有するよう促しています。職員は、子どもと保護者の間に立ち、双方の立場を理解しながら適切な支援に配慮しています。多忙な家庭が多い地域特性を踏まえ、さまざまな家庭の実情について職員間で理解を深める予定です。特に新人職員に対して、日頃から家庭事情を伝える理解促進の取り組みに期待します。 |